

第3号議案

2025年度 事業計画書 別紙

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2025年5月23日
一般社団法人 日本自動車車体工業会

我々は自動車車体産業の総合的な発達を図り、もって
我が国産業経済の発展と国民生活の向上に寄与していく。

1. 会員の企業活動に有用な各種調査を実施し、情報提供する。
2. 関係官庁・諸団体との連携により地球環境の維持並びに車両の安全性向上を図る。
3. お客様の要望に応える商品作りのため、技術レベル向上を支援する。
4. 海外との交流推進し、商品並びに諸活動の国際化を図る。
5. 法令並びに社会規範遵守を最優先し、一般社団法人としての社会的責任を果たしていく。

一般社団法人日本自動車車体工業会

1. 2025度事業計画	ページ	3. 部会事業計画及び部会役員	ページ
1 - 1. 2025年度事業計画概要	1	3 - 1. 現状認識と活動方針	2 5
1 - 2. 2025年度年間本部関連会議／行事日程表	3	3 - 2. 部会役員一覧	3 0
1 - 3. 2025年度組織及び委員会委員一覧		3 - 3. 部会事業計画	
(1) 組織図	6	・特装部会	3 8
(2) 委員会委員一覧	8	・特種部会	3 9
(3) 関連団体委員一覧	1 7	・トラック部会	4 0
2. 2025年度委員会事業計画		・バン部会	4 1
・C N 専門委員会	2 0	・トレーラ部会	4 2
・中央技術委員会	2 1	・バス部会	4 3
・環境委員会	2 2	・小型部会	4 4
・中央業務委員会、中小会員ネットワーク強化WG、		・資材部会	4 5
安全衛生活動WG、現地現物による技能系社員研修	2 3	4. 支部事業計画及び支部概要一覧	
・広報委員会、商用車ショー企画委員会	2 4	4 - 1. 事業計画一覧	4 6
		4 - 2. 支部概要	4 7

1. 2025年度事業計画

1-1. 2024年度事業報告及び2025年度事業計画 概要

<取り巻く環境>

= 世界経済 =

- ・ウクライナや中東紛争等、不透明な地政学リスクの高まりの中、AI等の技術革新加速もあり、世界経済は勢いが欠けつつも安定した時期が続いたが、保護主義・貿易摩擦激化や各国政策が引き起こす不確実性の高まり、特に米国トランプ第2期政権による関税追加策等により、減速・下振れ方向
- ・I M Fによる4月時点の世界経済成長率見通しは、2024年3.3%→2025年2.8%と低下（修正前3.3%から▲0.5%）。米国：24年2.8%→25年1.8%、中国：5.0→4.0%、欧州：0.9→0.8%

= 日本経済 =

- ・日本経済はコストカット型のデフレ経済から成長型経済への転換局面。2024年は高水準の賃上げ、過去最高の設備投資・訪日外客数、日本銀行の利上げによる金融政策正常化等の一方で、自然災害や自動車の工場稼働停止等による停滞感も強く、物価高を背景に、消費は力強さを欠く状況
- ・2025年は、過去最高の賃上げを受けた個人消費の回復、堅調な業績を背景にデジタル化・脱炭素・人出不足対応等を背景とした大企業中心の設備投資等の一方で、賃金増加に伴うサービス価格や、米など物価上昇圧力、更に米国の自動車関税追加等の影響が見通しにくい状況
- ・米国追加関税織込み後の三菱総研5月時点実質GDP予測：24年度+0.8%→25年度+0.5%

= 国内商用車市場 =

- ・2024年度の国内新車販売台数は、4,575千台（前年度比101 %）と、3年連続で前年超え
- ・国内商用車販売（貨物車＋大型バス）は、344千台（同98.2%）と2年ぶりの前年割れ、大中型貨物車は、シャシー供給の回復等もあり、74.6千台（同110%）と2年連続の前年超え
- ・2025年の商用車需要は、世界経済動向に左右される可能性あり不透明な状況

= 商用車市場内のポイント =

①国内貨物自動車輸送量（NX総研見通し）

2024年度3,760百万トン（前年度比99.0%）2025年度3,734百万トン（同99.3%）、物流はトン数低下・小口化の傾向

- ・貨物車(小型+普通)保有台数（2024年12月末）：5,959千台、▲約21千台（前年度比99.7%）
- ・普通貨物車平均使用年数（2024年3月末）：18.32年（対前年▲0.30年）、13年ぶりに減少
- ・運送事業者の景況感は、輸送効率改善や数量増加を受け、今回（2024年10-12月）は▲18.2（前回比+10.9）と改善傾向も、今後（2025年1-3月）は人材不足や物価上昇によるコスト増加により▲26.6（今回比▲8.4）との見通し（全日本トラック協会調査 2025年2月10日公表）

②バス輸送業界：路線バスは既に国や自治体の支援なく維持困難な状況が更に拡大。

自動運転やライドシェア等の新たな取組みも始まりつつあるが、バスの本格需要に結びつくには時間も必要
日本政府観光局（JNTO）発表の2024年訪日外国人旅行者数3,687万人（前年度比147%）
コロナ禍前2019年比116%と過去最高。観光バス需要回復を後支えの一方、ドライバー不足に拍車

③2024年問題：2024年4月以降、トラックドライバーの年間時間外労働時間上限960時間に制限。

Gメンによる調査等でも概ね法改正に沿った対応が取られており、今後の効率化、商慣行変化、荷主・消費者の行動変容に加えて、DX化・GX化等含めた物流変化の始まりと認識される

④法令順守：車載式故障診断装置(OBD)活用検査、自動車特定整備事業の認証取得、完成車の法規認証、独占禁止法に関わるコンプライアンス遵守等への社会要請の強まり

＜当会会員生産台数＞

- ・2024年度生産実績は合計217万台（前年度比101.3%）と3年連続で前年度超え
- ・当会特有の非量産車は154千台（同103%）と2年連続の前年度超え
- ・部会別：特装同93.3%、特種133%、トラック111%、バン106%、トレーラ95.9%、バス125%

＜会員状況（2025年3月末時点）＞

- ・正会員数は217社（前年度比4社増加、新入会5社、退会1社）
- ・準会員は107社（前年度比1社増加、新入会1社）
- ・総会員数は324社（前年度比5社増加）
- ・会員売上高調査（2023年度決算）で正会員の車体部門では6兆7,637億円（前年度比118%）
非量産会社の車体部門売上は6,999億円（同117%）と2019年以来4年ぶりの増収
- ・会員景況指数（増収会社率－減収会社率）は、2023年度は前年度比+60.5と大幅改善し、+36.3

＜2024年度事業実績＞

- ・当会活動指針「自動車車体産業の発達、産業経済の発展と国民生活向上に寄与」のもと、
カーボンニュートラル（CN）や安全、環境、コンプライアンス等社会との関わり、及び会員支援に資する6項目を取組み
 - 1)カーボンニュートラル（CN）
 - 2)安全への取組み
 - 3)環境への取組み
 - 4)中小企業支援活動
 - 5)活性化活動
 - 6)ガバナンス強化・業務効率化
- ・事業者団体活動が独占禁止法に抵触するリスクを包含するとの指摘の中、コンプライアンス規程作成・展開

＜2025年度事業計画＞

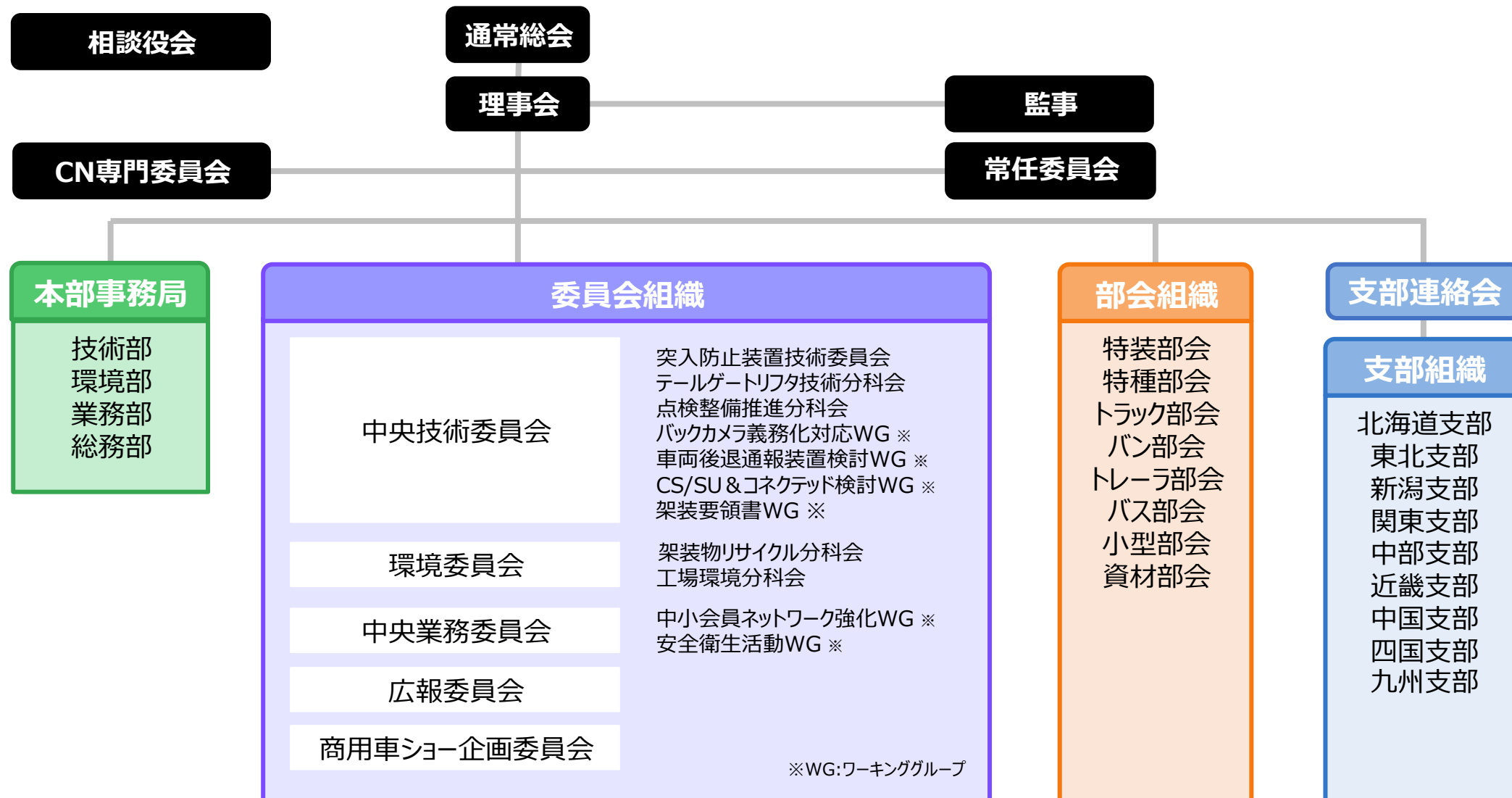
- ・2024年度同様、重点6項目を取組み
 - 1)カーボンニュートラル（CN）
 - 2)安全への取組み
 - 3)環境への取組み
 - 4)中小企業支援活動
 - 5)活性化活動
 - 6)ガバナンス強化・業務効率化

1-2. 2024年度 年間本部関連会議／行事日程表

年	2025									2026				
開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
通常総会		23日 (金)												22日 (金)
理事会		9日 (金) 281回		17日 (木) 282回			31日 (金) 283回			22日 (木) 284回		19日 (木) 285回		8日 (金) 286回
常任委員会		9日 (金)		17日 (木)			31日 (金)			22日 (木)		19日 (木)		8日 (金)
相談役会					6日 (水)									
CN専門委員会				16日 (水)			29日 (水)		22日 (月)			12日 (木)		
中央技術委員会				8日 (火)			22日 (水)		15日 (月)			6日 (金)		
環境委員会				4日 (金)			21日 (火)		10日 (水)			2日 (月)		
中央業務委員会				9日 (水)			23日 (木)		16日 (火)			5日 (木)		
広報委員会		30日 (金)			29日 (金)			28日 (金)			27日 (金)			
秋季会員大会							31日 (金)							
賀詞交歓会										6日 (火)				

1-3. 2025年度組織および委員会委員一覧

(1) 一般社団法人日本自動車車体工業会組織図



カーボンニュートラル（ＣＮ）専門委員会

* 印は新任

委員会 役職	氏名	所属		会社名	役職
		部会	役職		
委員長	* 富山 隆	—	—	日産車体(株)	代表取締役社長
副委員長	* 石川 洋之	—	—	トヨタ自動車東日本(株)	代表取締役社長
	布原 達也	—	—	極東開発工業(株)	代表取締役社長
	矢野 彰一	—	—	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
委員	小田 浩一郎	特装	部会長	新明和工業工業(株)	常務執行役員 経営企画本部長
	森 孝義	特種	部会長	中京車体工業(株)	代表取締役社長
	* 近藤 匠	トラック	部会長	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長
	田中 俊和	バン	部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長
	高崎 文弘	トレーラ	部会長	日本トレクス(株)	代表取締役社長
	藤岡 佳一郎	バス	部会長	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長
	* 松尾 勝博	小型	部会長	トヨタ車体(株)	代表取締役社長
	* 市橋 康男	資材	部会長	市岡(株)	代表取締役
事務局	小森 啓行	—	—	車体工業会	専務理事
	松本 東始	—	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
	森田 敦次	—	—	車体工業会	事業統括部長

中央技術委員会

* 印は新任

委員会 役職	氏名	所属		会社名	役職
		部会	役職		
委員長	布原 達也	—	—	極東開発工業(株)	代表取締役社長
副委員長	長田 善彦	特装	委員長	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
	新井 佳和	特装	副委員長	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
委員	常盤 博之	特種	委員長	東京特殊車体(株)	営業部 次長
	安部 康一	特種	副委員長	日産モータースポーツ&カスタマイズ(株)	カスタマイズ技術管理部 スペシャリスト
	岸本 友介	トラック	委員長	N X 商事(株)	整備製作部東京製作所 設計第一課 課長
	大橋 剛	トラック	副委員長	(株)浜名ワークス	技術部特殊車設計グループ 係長
	岩本 好昭	バン	委員長	日本フルハーフ(株)	開発第一部 部長
	渡邊 篤史	バン	副委員長	(株)パプコ	製品開発本部 設計 1 部標準ボデー設計グループ マネージャー
	森 孝夫	トレーラ	委員長	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
	中津留 徹也	トレーラ	副委員長	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
	古川 義治	バス	委員長	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 部長
	苅和 直人	小型	委員長	トヨタ車体(株)	L C 事業部 参事
	岡本 斉	突入防止	委員長	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	安部 慎二	T G L	分科会長	極東開発工業(株)	パワーゲートセンター設計課 課長
	城戸 良太	T G L	副分科会長	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートグループ長
アドバイザー	原田 修	特装	—	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 シニアエキスパート
事務局	上坂 弘一	—	—	車体工業会	技術部長

環境委員会

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属部会		会社名	役職
委員長	* 石川 洋之	—	—	トヨタ自動車東日本(株)	代表取締役社長
架装 分科会 リサイク ル	新井 佳和	特装		極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部 部長
	小澤 正広	バン		日本フルハーフ(株)	監査室 室長 兼 環境保全室 室長 兼 ISO推進室 室長
	井上 政嗣	特装		新明和工業(株)	特装車事業部 開発部 設計・ITグループ
	伊藤 公展	特種		京成自動車工業(株)	品質保証部 課長
	藤島 太毅	トラック		(株)東洋ボデー	管理部 管理課 担当課長
	中川 信之	バン		(株)矢野特殊自動車	バン車事業部 技術本部 本部長
工場 環境 分科会	* 梶ヶ谷 正美	小型		トヨタ自動車東日本(株)	P E ・環境部 環境G グループ長
	岸 正道	トレーラ		東邦車輛(株)	生産技術部 部長
	永井 淳	特装		新明和工業(株)	特装車事業部 佐野工場 生産技術課 課長
	鳥居 達也	特装		(株)豊田自動織機	環境マネジメント部 マネジメント企画室 企画G グループ長
	加藤 俊彦	特種		(株)トノックス	技術部 次長
	* 細谷 康造	トラック		本所自動車工業(株)	取締役
	* 河内 康英	バン		日本トレクス(株)	生産本部 生産技術部 部長
	赤松 伸一	バス		ジェイ・バス(株)	宇都宮工場 生産技術部 環境計画G グループリーダー
事務局	* 永川 浩之	小型		トヨタ自動車九州(株)	環境プラント部 CN・環境室 室長
	森田 敦次	—		車体工業会	事業統括部長

中央業務委員会

* 印は新任

委員会 役職	氏名	所属		会社名	役職
		部会	役職		
委員長	矢野 彰一	—	—	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
副委員長	* 山田 和典	トラック	委員長	山田車体工業(株)	代表取締役社長
委員	西村 誠	特装	委員長	新明和工業(株)	営業本部 直販営業部 部長
	宮野 圭司	特装	副委員長	極東開発工業(株)	営業本部 中部支店長
	* 眞田 淳二	特装	副委員長	(株)タダノ	国内営業企画第二部 部長
	* 神尾 将光	特種	委員長	(株)ケイエムオー	代表取締役
	堀田 和宏	特種	副委員長	札幌ボデー工業(株)	代表取締役社長
	殿内 崇生	特種	副委員長	(株)トノックス	代表取締役社長
	加藤 俊宏	トラック	副委員長	(株)相模ボデー	代表取締役社長
	細谷 康造	トラック	副委員長	本所自動車工業(株)	取締役 営業部
	* 最所 英己	バン	委員長	日本フルハーフ(株)	営業・CS企画部 部長
	田崎 嗣朗	バン	副委員長	(株)トランテックス	営業本部 南関東営業部 シニアアドバイザー
	* 村中 洋	トレーラ	委員長	東邦車輛(株)	営業本部 副本部長 兼 業務部長
	酒巻 徹	トレーラ	副委員長	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット担当部長
	梶ヶ谷 剛	トレーラ	副委員長	日本トレクス(株)	マーケティング部 部長
事務局	岩満 昭明	—	—	車体工業会	業務部長
	鶴見 孝之	—	—	車体工業会	業務部 課長補佐

広報委員会

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属部会		会社名	役職
委員長	* 石川 洋之	—	—	トヨタ自動車東日本(株)	代表取締役社長
委員	源本 正人	特装		極東開発工業(株)	特装事業部 推進本部 推進部 営業推進課長
	河野 元通	特種		(株)河野ボデー製作所	専務取締役
	田邊 仁也	トラック		山田車体工業(株)	企画室 主査
	峰房 里子	バン		日本フルハーフ(株)	事業企画部 コミュニケーション改革 グループ グループリーダー
	南 義明	トレーラ		日本トレクス(株)	経営企画部 経営企画課 係長
	塚本 智	バス		ジェイ・バス(株)	総務部 企画・渉外グループリーダー
	* 小塚 敏晃	小型		岐阜車体工業(株)	人事総務部 総務室 主担当員
	古川 芳	資材		スリーエム ジャパン(株)	トランスポート・ソリューション事業部 販売部
	* 浅井 大輔	資材		(株)アサイマーキングシステム	代表取締役社長
事務局	* 森田 敦次	—		車体工業会	事業統括部長
	遠藤 めぐみ	—		車体工業会	

商用車ショー企画委員会

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	布原 達也	—	極東開発工業(株)	代表取締役社長
副委員長	能條 幹也	特装	(株)花見台自動車	代表取締役
委員	光岡 拓	特装	極東開発工業(株)	経営企画部
	芳野 琢磨	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 営業本部 営業企画部 チームリーダー
	小澤 清二	特装	(株)タダノ	総務部 広報・広宣 G 担当部長
	峯房 里子	バン	日本フルハーフ(株)	事業企画部 コミュニケーション改革グループ グループリーダー
事務局	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長

支部連絡会

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属支部	会社名	役職
担当理事	矢野 彰一	九州支部	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
議長	鈴木 勇人	東北支部	仙台鈴木自動車工業(株)	代表取締役
副議長	星 浩由	関東支部	(株)ヤシカ車体	代表取締役
委員	* 村松 寛明	北海道支部	北海道車体(株)	代表取締役社長
	丸山 正範	新潟支部	(株)丸山車体製作所	代表取締役社長
	* 安藤 章宏	中部支部	(株)東海特装車	代表取締役社長
	須河 進一	近畿支部	須河車体(株)	代表取締役社長
	* 上野 孝弘	中国支部	フェニックス工業(株)	代表取締役社長
	* 北村 和則	四国支部	兼松エンジニアリング株	常務執行役員
事務局	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
	* 松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
	内藤 幸子	—	車体工業会	総務部 課長補佐

中央技術委員会 突入防止装置技術委員会

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部
委員	草刈 純一	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 担当課長
	武澤 真幸	特種	(株)野口自動車	設計部 部長
	阿部 健太郎	トラック	小平産業(株)	技術部 主任
	* 宮村 一男	バン	北村製作所(株)	第一技術部 部長代理
	* 村田 俊樹	トレーラ	新明和工業(株)	佐野工場 設計部 ミキサバルクグループ
	城戸 良太	T G L	新明和工業(株)	寒川工場 設計部ゲートG グループ長
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 テールゲートリフト技術分科会

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
分科会長	* 安部 慎二	特装	極東開発工業(株)	名古屋工場 パワゲートセンター設計課 課長
副分科会長	城戸 良太	特装	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートグループ長
委員	* 水谷 文昭	特装	極東開発工業(株)	名古屋工場 パワゲートセンター設計課 係長
	鈴木 伸彦	特装	日本リフト(株)	常務取締役
	緒方 剛博	特装	カーゴテック・ジャパン(株)	サービス本部 サービス部 技術マネージャー
	山下 俊彦	特種	坪井特殊車体(株)	設計
	勝見 貴之	バン	(株)北村製作所	第一技術部 課長
	照山 俊輔	バン	トヨタ車体(株)	商用営業部 グループ長
	内田 修一	バン	トヨタ車体(株)	商用企画部 主担当員
	山本 秀彦	バン	(株)東海特装車	技術部 主査
	初鹿野 浩一	バン	日本フルハーフ(株)	開発部第一部 バン開発グループ
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 車両後退通報装置検討WG

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	長田 善彦	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
委員	弘津 智史	特装	新明和工業(株)	広島工場設計部開発G G長
	古庄 一宏	特装	新明和工業(株)	佐野工場設計部特殊車グループ
	原田 修	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 シニアエキスパート
	* 清水 智規	特装	(株)モリタ	技術部 技術4課 係長
	伊藤 栄大	特装	カヤバ(株)	特装車両事業部熊谷工場技術部
	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	齋藤 弘明	特装	カヤバ(株)	特装車両事業部熊谷工場技術部係長
	若井 幸一	特種	いすゞ車体(株)	商品設計部部長
	石坂 友義	バン	東プレ(株)	冷凍機事業部技術部設計G 課長
	肥田 巴	バス	ジェイ・バス(株)	宇都宮受注設計部 電装Gリーダー
	山中 紳吾	トラック	本所自動車工業(株)	技術課
	波多江 敬史	トラック	名古屋ボデー(株)	製造部 課長
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 点検整備推進分科会

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	長田 善彦	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
副座長	鈴木 孝明	バン	日本フルハーフ(株)	営業・C S企画部 担当部長
委員	嶋田 弘明	特装	新明和オートインジニアリング(株)	サービス部長
	原田 修	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 シニアエキスパート
	安田 俊一	特装	極東開発工業(株)	サービス本部 サービス推進部
	西村 誠	特装	新明和工業(株)	営業本部 直販営業部 部長
	宮野 圭司	特装	極東開発工業(株)	営業本部 首都圏支店長
	山田 和典	トラック	山田車体工業(株)	代表取締役社長
	大橋 剛	トラック	(株)浜名ワークス	技術部特殊車設計 G 係長
	忠村 憲明	バン	(株)トランテックス	部品・サービス部 部長
	米口 孝雄	バン	(株)トランテックス	品質保証部品質保証 G G長
	福島 稔	バン	(株)パプコ	カスタマーサービス部 部長
	* 松尾 文徳	バン	日本トレックス(株)	サービス本部サービス部 部長
	* 金子 保裕	トレーラ	日本フルハーフ(株)	品質保証部 担当部長
	城戸 良太	TGL技術分科会	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートグループ長
	初鹿野 浩一	TGL技術分科会	日本フルハーフ(株)	開発第一部開発グループ
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 バックカメラ義務化対応WG

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	足立 大志	JASIC/VRU-proxi国内対応WG	極東開発工業(株)	技術本部開発部開発二課 課長
副座長	岡本 斉	JASIC/VRU-proxi国内対応WG	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
委員	新井 佳和	特装（技術副委員長）	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	清藤 英樹	中央技術（TGL）	極東開発工業(株)	名古屋工場パワーゲートセンター設計課 係長
	三ツ井 実	特装（脱着車）	極東開発工業(株)	生産本部横浜工場第二設計課課長
	佐伯 篤司	特装（クレーン）	(株)アイチコーポレーション	商品開発部 開発管理課 エキスパート
	黒川 知範	特装（粉粒体）	極東開発工業(株)	名古屋工場 設計課 担当課長
	木村 隆寿	特装（塵芥車）	新明和工業(株)	特装車事業部広島工場設計部 部長
	山田 大二	特装（清掃車）	(株)モリタエコノス	技術部技術管理課 課長
	神尾 将光	特種	(株)ケイエムオー	取締役社長
	山田 直樹	トラック	山田車体工業(株)	製造部技術課 課長
	高橋 裕也	トラック	(株)浜名ワークス	特殊車設計グループ 係長
	中川 信之	バン	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部技術部本部 技術本部長
	浅田 賢蔵	バン	日本フルハーフ(株)	開発第一部開発グループ
	松田 謙三	バス	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 特仕設計 マネージャー
	古谷 貴志	資材	フォルシアクリオン・エレクトロニクス(株)	バス営業部門 Manager
	原田 智広	資材	フォルシアクリオン・エレクトロニクス(株)	商品企画部門 Manager
	柴田 勲	資材	メルコモビリティソリューションズ(株)	技術統括部長
	根岸 邦博	資材	メルコモビリティソリューションズ(株)	アフターマーケットサービス事業本部 アフターマーケット事業部 東日本営業部長
	北澤 修	資材	メルコモビリティソリューションズ(株)	アフターマーケットサービス事業本部 アフターマーケット事業部 副事業部長 兼 企画推進部長
	加藤 寛久	資材	メルコモビリティソリューションズ(株)	アフターマーケットサービス事業本部 アフターマーケット事業部 企画推進部 事業開発課長
オブザーバー	長田 善彦	中央技術委員会	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 CS/SU&コネクテッド検討WG

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	松本 典浩	特装	極東開発工業(株)	技術本部開発部 担当部長
副座長	速水 健一	特装	新明和工業(株)	特装車事業部開発部 電気グループ長
委員	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部
	加賀田 武志	特装	(株)アイチコーポレーション	商品開発部要素設計課 スパシャリスト
	北岡 健史	特装	(株)アイチコーポレーション	商品開発部開発管理課 スパシャリスト
	元野 等	特装	(株)モリタ	商品開発部 課長
	岩波 茂	特装	カヤバ(株)	熊谷工場技術部 係長
	岸 秀次郎	特装	(株)ティセンテクノ	設計部次長
	竹森 進二	特装	日本機械工業(株)	設計部システム設計課 次長
	宮下 知也	特装	(株)タダノ	開発企画部知財・法規ユニット 主管
	安倍 正記	特装	(株)タダノ	LE開発第二部高所・特機開発ユニット
	壺内 達弘	特装	(株)加藤製作所	設計第3部課長代理
	* 塚田 慎也	特装	(株)モリタエコノス	生産本部開発部開発課 課長
	有馬 寛	特種	東京特殊車体(株)	経営戦略室 課長兼設計部 課長
	和田 明	特種	トヨタデザインング & ティハロップメント	名古屋技術部 部長
	福田 亮	特種	トヨタデザインング & ティハロップメント	名古屋技術部電子開発室第3電子G グループ長
	近藤 司	特種	トヨタデザインング & ティハロップメント	開発統括部開発統括室設計監理G主任
	* 中屋 宣也	特種	(株)オートワークス京都	営業・技術部 開発グループ 担当部長
	* 竹本 澄	特種	(株)東海特装車	室長
	* 鈴木 博章	特種	(株)東海特装車	主担当員
	* 三浦 洋介	特種	日産モーターズ・ーツ&カスタムズ(株)	カスタマイズ技術管理グループ
	* 武澤 真幸	特種	(株)野口自動車	設計部 部長
	石井 亨	トラック	(株)浜名ワークス	技術部 主任
	菱河 聡	トラック	(株)東洋ボデー	設計開発課 係長
	新町 拓正	バン	東プレ(株)	技術部装置グループ 主管
	* 安藤 広樹	バン	トヨタ車体(株)	商用企画部 商用企画室 主担当員
	* 照山 俊輔	バン	トヨタ車体(株)	商用営業部 国内営業室 主担当員
	* 小林 義孝	バン	トヨタ車体(株)	商用営業部 国内営業室 主担当員
	* 平工 泰央	バン	トヨタ車体(株)	商用営業部 国内営業室 主担当員
	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部トレーラ設計課課長
	渡辺 英彦	トレーラ	日本フルハーフ(株)	開発第二部製品グループリーダー
オブザーバー	長田 善彦	中央技術	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中央技術委員会 架装要領書WG

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	* 新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部部長
	* 長田 善彦	特装	新明和工業(株)	品質保証部 部長
	* 海津 浩幸	特装	新明和工業(株)	グループ長
	* 常盤 博之	特種	東京特殊車体(株)	経営戦略室 次長
	* 若井 幸一	特種	いすゞ車体(株)	先行開発部 部長
	* 岸本 友介	トラック	NX商事株式会社	整備製作部 東京製作所設計第一課長
	* 阿部 健太郎	トラック	小平産業株式会社	技術部 主任
	* 岩本 好昭	バン	日本フルハーフ(株)	開発・設計監理部 部長
	* 石坂 友義	バン	東プレ(株)	冷凍機器事業部 技術部設計企画G 課長
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

中小会員ネットワーク強化WG

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
リーダー	矢野 彰一	バン	(株)矢野特殊自動車	取締役社長
サブリーダー	* 山田 和典	トラック	山田車体工業(株)	取締役社長
委員	國武 幸弘	特種	(株)イズミ車体製作所	取締役社長
	河野 元道	特種	(株)河野ボデー製作所	専務取締役
	堀田 和宏	特種	札幌ボデー工業(株)	取締役社長
	星 浩由	特種	(株)ヤシカ車体	取締役社長
	森 孝義	特種	中京車体工業(株)	取締役社長
	加藤 俊宏	トラック	(株)相模ボデー	取締役社長
	落合 守征	トラック	司工業(株)	取締役副社長
	近藤 匠	トラック	名古屋ボデー(株)	取締役社長
	藤田 健一郎	トラック	フジタ自動車工業(株)	取締役社長
	木俣 博光	バン	(株)永光自動車工業	取締役社長
	鈴木 勇人	バン	仙台鈴木自動車工業(株)	取締役社長
事務局	岩満 昭明	—		業務部長

安全衛生活動WG

* 印は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
リーダー	* 立川 浩二	小型	日産車体(株)	安全環境部 部長
委員	田邊 周作	特装	新明和工業(株)	製造部 部長
	神尾 将光	特種	(株)ケイエムオー	取締役社長
	大石 和久	トラック	(株)浜名ワークス	製造部 グループ長
	渡邊 幸仙	バン	日本フルハーフ(株)	厚木総務室安全健康管理G グループリーダー
	木村 光則	バス	ジェイ・バス(株)	総務部宇都宮安全G グループリーダー
事務局	岩満 昭明	—		業務部長
	鶴見 孝之	—		業務部 課長補佐

(3) 2025年度関連団体委員一覧

* 印は新任

団体名／内容	委員	所属部会等	会社名	役職
経済産業省				
バイオエタノール採用拡大TF※ ※ タスクフォース	* 天川 英樹	特装	昭和飛行機工業(株)	特殊車両製造部 事業管理部 製造管理課 主査
	* 倉沢 俊彦	特装	東邦車輛(株)	営業本部 直販部 特装販売促進課 担当部長
	* 上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
国土交通省				
車両安全対策検討会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般社団法人日本自動車工業会				
大型車部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
トラクタ分科会	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
公益社団法人自動車技術会				
理事	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
学生フォーミュラ会議	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長 (自技会理事)
規格会議	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長 (自技会理事)
モビリティガバナンス 社会実装検討委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
自動車標準化委員会・ JIS/JASO規格審議委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
安全部会	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長
ビークルダイナミクス部会	三木 邦彦	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ 主査
ブレーキ性能分科会	永田 恭敬	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ グループ長
車体部会	伊藤 誠也	特装	新明和工業(株)	品質保証部 担当課長
	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長
	大型車連結装置分科会	渡辺 英彦	日本フルハーフ(株)	開発第二部 製品グループリーダー
環境部会				
天然ガス自動車分科会	桃平 鋼司	小型	日産車体(株)	シャシ・要素設計部主担
LPガス自動車分科会	桃平 鋼司	小型	日産車体(株)	シャシ・要素設計部主担
車室内空気質分科会	富沢 秀之	資材	ロンシール工業(株)	研究開発部 産資・国際グループリーダー

団体名／内容	委員	所属部会等	会社名	役職
公益財団法人日本自動車輸送技術協会 自動車基準認証国際化研究センター				
国際化企画委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
WP29/IWVTA部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
一般安全分科会	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	山倉 浩介	バス	ジェイ・バス(株)	宇都宮製品企画・開発設計部 構体グループ グループリーダー
	* 黒川 知範	トレーラ	極東開発工業(株)	名古屋工場 設計課 担当課長
VRU-proxi国内対応WG	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	足立 大志	特装	極東開発工業(株)	開発部開発二課課長
	* 松田 謙三	バス	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 特仕設計 マネージャー
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
衝撃吸収分科会	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
STCBC国内対応WG	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	篠田 英明	資材	天龍工業(株)	技術部 部長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
WP29/IWVTA部会				
自動運転分科会	曾我 昌道	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ 主査
大型車AEBS国内対応WG	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
灯火器分科会	須藤 聡一	資材	スリーエム ジャパン(株)	コマーシャルブランディング&トランスポートソリューションプロ ダクトプラットフォーム技術部
	森 孝夫	トレーラ	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部部長
	鈴木 保彦	特装	新明和工業(株)	品質保証部 課長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
騒音・タイヤ分科会				
後退警報国内採用WG	長田 善彦	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部部長
	原田 修	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部シニアエキスパート
	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部部長
	石坂 友義	バン	東プレ(株)	冷凍機事業部技術部設計G課長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
TPMSTI対応	宇都 裕亮	トレーラ	小平産業(株)	技術部 次長
	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレー設計課 課長
	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長 (トレーラ部会担当)
3点式ハル義務付 国内対応WG	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	農田 智史	バス	ジェイ・バス(株)	小松製品企画・開発設計部 艤装グループ 主任
	篠田 英明	資材	天龍工業(株)	技術部 部長
	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長 (バス部会担当)
FVA国内対応WG (Field of Vision Assistants)	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
検査整備制度調査部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
国交省				
完成検査の 改善・合理化検討会	若林 哲也	特装	極東開発工業(株)	品質保証本部 品質保証部 部長
	冷水 洋文	特装	新明和工業(株)	寒川工場型式指定検査グループ グループ長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
一般社団法人日本経済団体連合会				
審議員	* 富山 隆	会長	日産車体(株)	代表取締役社長
〃	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
モビリティ委員会	* 富山 隆	会長	日産車体(株)	代表取締役社長
一般財団法人日本ウェザリングテストセンター				
評議員	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事

団体名／内容	委員	所属部会等	会社名	役職
一般財団法人日本規格協会				
物流標準化懇話会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般社団法人日本自動車タイヤ協会				
タイヤ企画委員会	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長（トレーラ部会担当）
公益財団法人日本自動車教育振興財団				
評議員	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般財団法人日本自動車研究所 認証センター				
運営委員	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
環境審査判定委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
品質審査判定委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
道路交通安全審査判定委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
労働安全衛生委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般社団法人日本自動車会議所				
運営委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
道路・交通委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
税制委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
経済・産業委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
会館運営委員会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
会館総合部会	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）				
逸脱防止部材実証調査委員会	安部 慎二	特装	極東開発工業(株)	名古屋工場パワーゲートセンター設計課 課長
(株)日本能率協会総合研究所				
車両安全対策検討会	* 小森 啓行	—	車体工業会	専務理事

2. 2025年度委員会事業計画

○ : 大幅過達(120%以上) ○ : 計画通り(90%以上) △ : 若干未達(60%以上) × : 未達(60%以下)

2025年度事業計画（CN専門委員会） 委員長：富山理事 事務局：小森、松本、森田

項目・ねらい		実施項目	役割分担	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
C N 専 門 委 員 会	CN活動全体推進 ＜ねらい＞ CN活動全体を先導		(1)CN活動への理解促進のための仕掛けを先導 (2)各委員会・部会(支部)の活動内容確認と情報共有 (3)自動車5団体との連携（他CJPT等） (4)商用車電動化対応	CN専門委員会 (富山委員長)				#28 ○ 本部委員会・部会 支部へ展開・共有			#29 ○ 本部委員会・部会	#30 ○ 本部委員会・部会			#31 ○ 支部活動を集約		
	新規取組み ＜ねらい＞ CO2排出量 低減を加速	①活動強化	(1)情報発信強化 ⇒ 目標設定支援に繋げる	CN専門委員会 (富山委員長)	情報収集と困り事相談、協議、すり合わせ												
			(2)本部連携での情報展開、困りごと収集・対応	各部会	対応方法検討												
	継続推進 ＜ねらい＞ これまでの 活動の 継続・深化	②改善活動の継続 ・深化	(1)CO2排出量の算出 <div>KPI 非量産▲1%以上、委託生産▲2%以上</div> ①全会員のCO2排出量の把握 ②経団連CO2排出量FU <div>売上高カバー率95%以上</div> ③CO2排出量の増減分析【分析WG】 <div>前年度との差異分析</div>	環境委員会 (石川委員長)	方法調整			配信・調査			集約、フィードバック						
			(2)CN取組みの事例収集 ①省エネ改善事例の収集、展開 ②改善事例集の作成、展開【事例WG】 <div>1件/年以上</div>		経団連説明▼	▼39社依頼	▼自工会提出	自動車生産WG▼									
			(3)CNページ閲覧頻度向上施策の検討・実施	広報委員会 (石川委員長)	【分析WG】 分析内容検討・確認	分析	層別	仕分け 情報共有	次年度修正								
			(4)勉強会推進 ①CNセミナー・講演会の開催	CN専門委員会 (富山委員長)	【事例WG】 マテリアル作成	依頼▼	収集	精査・修正	H1掲載・関係WG展開								
		③本部委員会と部会 (支部)との一体活動	(1)現地支援、現地意見交換【支援WG】 <div>現地支援 4件/年以上</div> (2)部会・支部との連携 <div>巻き込み 4件/年以上</div>	環境委員会 (石川委員長)		【支援WG】	確認	修正	展開								
④LCA					(1)Scope3の準備と検討 <div>情報展開 1件/年以上</div> ①LCA、CFPの推進方法の収集、展開		検討・協議	検討・協議	検討・協議	実行							
⑤部会の特徴踏まえた 実効性ある取組み	(1)特装：WG活動 (2)特種：CNチェックシート (3)トラック：事例共有強化 (4)パン：手引書、目標設定活動	各部会・支部	困りごと 絞り込み	確認・選定		支援											

KPI項目は仮

2. 2025年度委員会事業計画

2025年度事業計画（中央技術委員会） 委員長：布原理事 事務局：上坂

◎：大幅過達(120%以上) ○：計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) ー：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
中央技術委員会		中央技術委員会開催予定：4回/年															
	1. 法規関係の対応 くねらい> 車両法規改正への対応は、技術委員会の最重要項目であり、実施していく。 多種多様な特装架装については、一律の法文通りでは運用できないため、素案段階での意見反映や検査側と細部を調整する。 技術的規制項目で業界や社会的メリットに繋がるものの緩和要望を進めていく。また、決定後の会員への周知等を十分実施し円滑な適用を徹底する。	(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①法規改正案に対する意見反映 ②協定規則採用動向調査及び周知 (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 ① R39(スピードメーター) ②R73 (サイドバンパー) (3)CS/SU&コネクテッド検討WG活動の推進	長田副委員長 新井副委員長・各委員														
	2. 基準化/標準化推進 くねらい> 車体関係規格は十分とはいえないため、上位規格への策定に参画すると共に JABIA規格の充実化を図る。 また、横断的課題が部会単位では動きづらいため、法規対応、自主的共同研究等の部会共通項目を中央技術委員会で対応していく。	(2)JABIA規格等の充実と推進 ・JABIA規格改正1件、標準化等11件 (2)・ISO、JIS、JASO規格作成への参画 ・ISO-TC297対応 ・ISO-TC195対応 (3)各部会の共通調査項目の充実と推進															
	3. 会員の技術力向上・要望への対応 くねらい> 当会関係の不具合情報から得た技術情報を共有化し、全体レベルを向上させる。また、発表会を開催し部会や各社の技術的情報交換を活発にしていく。 加えて、会員からの業務関係に関する改善要望へ対応を図る。	(1)重大不具合の再発防止策共有活動 ・リコール、改善措置、サービスキャンペーン (2)技術発表会の開催(3月開催) (3)自工会(シャシメーカー) 連携強化 架装要領書への要望(自工会と進め方の調整)															
委員会	4. 点検整備推進分科会 ★ くねらい> 使用上のトラブルを未然に防止するための適切な保守点検の啓発と、架装物の安全点検制度の普及を図る。	(1)架装物の安全点検制度の普及促進 ・制度対象製品の追加見直しを行い普及促進 ・会員への働きかけと支援 (各部会)	委員														
	5. 突入防止装置技術委員会 ★ くねらい> JABIAリベット制度の適正運用のための指導及び改正提案への対応を行う。	(1)R58-03改定版の解説書の内容の確認 およびJABIA規格化 (2カ年計画)	委員														
	6. テールゲートリフト技術分科会 ★ くねらい> テールゲートリフト車特有の法規対応を検討していく。	(1)TGLの安全性向上に関する取組み (2)TGLの「突入防止装置解説」および「みなしバンパ自主基準」の見直し	委員														

2. 2025年度委員会事業計画

2025年度事業計画（環境委員会） 委員長：石川理事 事務局：森田

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
環 境	環境委員会	環境委員会開催予定：4回／年	架 装 物 リ サ イ ク ル 分 科 会				○			○		○			○		
	1. リサイクル設計の推進 〈ねらい〉 ・商用車架装物リサイクル自主取組みの 適正運用に重要な易解体性を向上 ・環境にやさしい車体造り促進のため 環境基準適合ラベル(ホワイト)、及び 新環境基準適合ラベル(ゴールド)を 世の中に周知	(1)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)を社会へPR ①新聞、雑誌への広告掲載（閲覧者の多い媒体を選定） ②効果的なPR方法の検討、実施 (2)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)の取得推進 ①アンケート実施による取得意欲の確認（ホワイト、ゴールド） ②環境ラベル取得に向けた現地訪問（手続き説明他） ③環境ラベル取得申請の審査 (3)リサイクル設計の推進 ①易解体設計事例の収集（現地確認含む） ②再利用部品の調査、紹介（解体後の再利用含む） (4)易解体性の課題把握 ①解体作業現場の調査による課題把握 ②車両工場の現地確認（自工会・車工会）※JTP・JAERA含む ③解体後の処理方法における課題抽出															
	2. 協力事業者制度の推進 〈ねらい〉 ・適正な架装物のリサイクル、処理を 実施する事業者を紹介	(1)協力事業者制度の推進（自工会と連携） ①登録済の協力事業者（解体業者）の調査（行政処分等） ②登録済の協力事業者（解体業者）の作業内容確認															
員	3. 環境負荷物質の使用制限 〈ねらい〉 ・環境負荷物質削減を推進	(1)環境負荷物質フリーの展開 ①フリー部品のHP掲載内容の見直し 目標 鉛：2002年度使用量(60g/台)を2006年度に半減（2005年度の達成済） 水銀：2005年1月以降使用禁止(照明装置を除く) 六価クロム：2008年1月以降使用禁止 カドミウム：2007年1月以降使用禁止	工 場 環 境 分 科 会														
	4. 地球温暖化対策の取組み 〈ねらい〉 ・経団連の地球温暖化対策の一環として CO ₂ 排出量削減目標を達成 目標：30年 排出量78万t以下（'13年比△38%） ・2050年カーボンニュートラルへの挑戦	(1)目標に対する状況確認 【KPI：年間 非量産△1.0%以上、 ①全会員のCO ₂ 排出量を把握（電力係数以外）委託生産 △2.0%以上】 ②自工会と連携し、代表39社のCO ₂ 排出量を把握 ※経団連FU対応 【KPI：売上カバー率95%以上】 (2)会員への情報発信 ①省エネ改善事例の収集、展開 ②改善事例集の作成、展開（事例WG） 【KPI：1件/年以上】 (3)会員の実態把握と支援 ①CO ₂ 排出量の増減分析（分析WG） 【KPI：前年度との差異分析】 ②現地訪問による支援（支援WG） 【KPI：現地訪問支援 4件/年以上】 (4)部会・支部との連携 ①現地訪問時の意見交換 【KPI：現地訪問時の参込み4件/年以上】 (5)Scope3の準備と検討 ①LCA、CFPの推進方法の収集、展開 【KPI：情報展開1件/年以上】															
	5. 産業廃棄物減量化への取組み 〈ねらい〉 ・産業廃棄物減量を削減 目標：25年度2,940t以下（'00年度比△89%） ・プラスチック資源循環の推進	(1)産業最終処分量の調査 ①全会員の産業廃棄物を把握 ②廃棄物低減のための困り事・課題を調査、解決 （木製パレット回収方法、削減事例の展開他） ③代表66社の最終処分量の把握と報告 ※経団連FU対応 (2)処分量削減の事例収集と展開															
会	6. VOC排出抑制の取組み 〈ねらい〉 ・VOC排出量の削減 目標：51.5g/m以下（'00年度比△50%）	(1)VOC排出量の調査 ①排出量の調査と原単位の算出 (2)改善事例の収集と展開	事 務 局														
	7. CN活動との連携 〈ねらい〉 ・環境情報、技術を共有	(1)環境関連情報の集約と共有 ①内外部の環境情報の入手と展開 ②車工会HP、車体NEWSへの掲載															

2. 2025年度委員会事業計画

2025年度事業計画（中央業務委員会） 委員長：矢野理事 事務局：岩瀬、★鶴見

○：計画、●：実施済

○：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
中央 業務 委員 会		中央業務委員会開催予定：4回／年					○9			○23		○16			○5		第1回7/9予定、第2回10/23予定、第3回12/16予定、第4回3/5予定
	1. コンプライアンス優先経営 徹底活動 ＜ねらい＞ 車工会本部活動及び 会員会社でのコンプライアンス 意識醸成やリスクマネジメント 体制整備を図る。 中小企業会員の意識も 醸成されつつある中で、 更なる意識向上、 体制整備の支援を進める。	(1) コンプライアンス優先経営の徹底 ① 独占禁止法に関わるコンプライアンスの周知徹底 ・独占禁止法に関する会員への啓蒙、支援等 ② 下請取引ガイドラインの徹底 ・適正化特別推進月間対応 ③ 不正な二次架装根絶業界内定着活動 ・「不正改造車を排除する運動」対応 (2) リスクマネジメントへの対応支援（BCP） ・BCPに関する会員への情報提供		啓蒙策・支援策の検討						諸策実行							
				独占禁止法関連情報提供(随時)													
				下請法セミナー等実施情報提供(随時)							推進月間						
中央 業務 委員 会	2. 中小会員支援、困りごと等 1) 中小企業経営支援 ＜ねらい＞ CN・SDGsへの適正な対応と 今後想定される景気後退に伴う 経営不振に備えた、中小会員 支援策の論議を充実させる。	(1) 中小会員経営における効果的な支援策 ① 各部会における中小支援活動の共有・論議 ② 中小会員合同マネジメント研修の継続開催 ③ 生産性向上のための設備投資アイテムの収集と共有 ・DX化、自動化、ロボット化、からくり、等 (2) 原材料費の情報提供（3ヵ月毎）	中央 業務 委員 ／ 事務 局	各部会活動	○9				○23		○16				○5		
				検討					募集	集約	課題						
											開催						
											○21						
中 小 企 業 会 員 の ネ ッ ト ワ ー ク	3. 中小企業会員のネットワーク強化と 相互研鑽の仕組みづくり ＜ねらい＞ 中小会員のビジネス形態を学び、 課題などを共有、共に議論して 将来のための気づきと可能性を探る。	(1) 各部会の困りごと共有(各部会報告)と対応検討 ① 既存課題への対応 ② 新規課題への対応 ③ CN課題への対応 (2) 車工会CN活動及びHP周知活動 ・毎月アナウンス (3) 関連団体と連携した税制・法制への要望活動 ① 税制改正要望まとめ ② 規制改革要望推進 ③ 外国人育成就労制度対応(技能実習制度改正) ・3団体WG参画(自工会/部工会/車工会)		中央業務委員会報告	○9				○23		○16				○5		
				① 各部会活動	○9					○23		○16			○5		
				② 各部会活動													
				③ 各部会活動													
安 全 衛 生	4. 安全衛生活動WG ★★ ＜ねらい＞ 安全衛生活動に寄与する情報発信と 活動支援を行う。	(1) 安全衛生活動WG (2) 会員各社の現地現物確認（工場/安全道場見学） (3) 会員からの事例収集と会員への事例提供（当会HP掲載） (4) 安全衛生関連法規情報アナウンス	事 務 局	○#1 活動検討					○#2 見学会検討				○#3 見学会		○#4 事例まとめ		
				事務局検討					事例収集						HP公開		
				事務局検討					アナウンス(随時)								
技 能 研 修	5. 現地現物による技能系社員研修 ★★ ＜ねらい＞ 中小会員の現場監督者層研修を通し 自社の現場力アップを支援する。	(1) 従来研修実施(小型部会講師、年1回1拠点、3年輪番制) 2025:トヨタ自動車東日本、26:日産車体、27:トヨタ車体 (2) 新規研修検討：会員ニーズ把握、研修内容検討、トライアル	事 務 局	講師調整					募集				準備		開催		
														○11/6-7			
				ニーズ把握									検討・トライアル				

2. 2025年度委員会事業計画
2025年度事業計画 広報委員会

委員長：石川理事、事務局：森田、遠藤

○：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
広報委員会		広報委員会開催予定：4回／年			○ 30			○ 29			○ 29			○ 27			
	1. 会員への情報発信の 一層の拡充 <ねらい> 会員に必要な情報のタイムリーな発信を継続、 拡充するため、リニューアル後のホームページの 活用状況を分析し、必要な改善を続ける。	(1)ホームページによる委員会/部会情報の共有 情報共有内容の定義と専用ページの新規作成 検索しやすいの向上 (2)HPの認知度向上・活用増 ①CNページ閲覧頻度向上施策の検討・実施 ②CN官公庁情報の調査とHPへの追加 ③活用状況の分析と改善検討 (3)当会活動／官公庁情報の発信の充実 ・「当会からのお知らせ」「官公庁情報」の情報発信		掲載項目の選定 フォーマット検討			○ 情報収集			○ ページ作成、展開							
				検討	○ 議論	検討	○ 議論	検討	○ 議論		○ 実行						
					事例収集		○ まとめ		○ 修正								
							委員会毎に確認、HP追加										
							情報発信：広報委員会毎に実績確認										
	2. 当会活動の対外的PRと 認知度の向上 <ねらい> 当会の通常活動に加えて、社会的意義のある 活動をPRすることで、プレゼンスの向上を図る。	(1)社会的意義がある当会活動の情報発信 (2)プレスリリースの計画的な発行と内容の充実 5月・通常総会会長挨拶 ・25年度車体業界の見通し ・25年度役員体制 ・24年度生産実績 10月・秋季会員大会会長挨拶 ・上期生産台数 1月・会長の新年挨拶	富山委員長／事務局				雑誌、新聞等への広告掲載										
					○ 通常総会(5/23)					○ 秋季会員大会(10/31)							
														○ 年頭の辞 (1/1)			
	3. 機関誌「車体NEWS」の充実 <ねらい> 紙媒体の特性を活かし、掘り下げ記事を充実、 HPでの速報性との相乗効果により効果的な 情報発信とする。	(1)配布部数の見直し 配布部数の削減検討（CN観点） (2)デジタル化の検討 配信タイミング、記事内容の検討 他団体、他業界のベンチマーク (3)記事内容の拡充と執筆スキルの向上 次号の記事内容・担当会社の確認・論議		検討	○ 議論	検討	○ 議論			○ 実行				○ 実行			
										デジタル化検討							
							他団体等の調査										
					○		○			○				2027年記事担当 部会決定 ○			

2025年度事業計画 商用車ショー企画委員会 委員長：布原理事、事務局：小森、松本、森田

商用車 企画シ ョー 員 会	1. ジャパンモビリティショー(JMS)等の イベントの充実 <ねらい> 当会認知度の向上、当会活動のPRや 会員PRのため、モーターショー等でのイベントを 充実させる。	(1)JMS2025対応 屋内展示の仕様検討・実施（車両展示なし） JMS2025 期間：2025年10月29日～11月9日 場所：東京ビッグサイト (3)他イベントの検討（国内外） (4)自工会、部工会、他関係団体との調整	能條副委員長／事務局	展開・検討	詳細・準備	JMS	次年度計画										
					商用車ショー委員会												
						都度・対応											
						連携・調整											

3. 部会事業計画及び部会役員

3 - 1.部会の現状認識と活動方針

部会		内容
特装	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> 生産台数：2024年暦年 特装部会全体の生産台数は46,914台(前年比90.4%)、国内輸送系は29,005台(同88.5%)、国内作業系は12,139台(同96.2%)、いずれも減少。輸出は5,770台(同88.5%) 技術、サービス及び業務の3つの委員会の他に、特装車特有の車両法規対応車種毎の課題等を解決するため、9の専門分科会を設置し活発に活動している。 車両法規への対応：次の事項の動向を注視し、適切な対応が必要 協定規則の採用や改正案に対する当会の意見反映 国内法規改正前の意見反映 会員の困りごとの洗出し、会員支援
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> CNワーキンググループによるCNの取組み推進、底上げを図っていく活動を継続 車両関係法規への対応 特装車の適正使用の推進、架装物の点検整備促進活動 競争法に関わるコンプライアンス規定の徹底
特種	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の高騰、人材不足、いまだ続くシャシ納入の不安定さ等、会員の厳しい状況は継続 法規関連：R165後退通報装置、R158後退時車両直後確認装置、R155CS/SU（サイバーセキュリティ/ソフトウェアアップデート）、R73サイドバンパーなどのUN法規適用への対応 環境対応：カーボンニュートラルに向けた具体的な削減活動
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> 新規検査時のトラブルや審査方法の不明点等の解決 基準化、標準化活動の充実（JABIA規格、各種法規対応手順書等） 会員の困り事への対応 CNに向けた会員支援 会員の知識向上、相互研鑽の場の提供

部会		内容
トラック	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の高騰、いまだ続くシャシ納入の不安定さ等、会員の厳しい状況は継続 ・法規関連：R158後退時車両直後確認装置、R165後退通報装置、R155CS/SU などの法改正への対応が必要 ・環境対応：カーボンニュートラルに向けた準備を加速させる必要あり
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基準化、標準化活動の充実（メンテナンスニュースニュース、各種法規対応手順書等） ・CNに向けた会員支援、会員の困り事への対応 ・会員相互の情報交換の場の提供
バン	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の高騰、いまだ続くシャシ納入の不安定さ等、会員の厳しい状況は継続 ・法規関連：R158後退時車両直後確認装置、R165後退通報装置、R155CS/SU などの法改正への対応が必要 ・環境対応：カーボンニュートラルに向けた準備・活動を加速させる必要あり
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基準化、標準化活動の充実（安全輸送ニュース、各種法規対応手順書等） ・CNに向けた会員支援、会員の困り事への対応 ・会員相互の情報交換の場の提供

部会		内容
トレーラ	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> 1) 法令: トレーラ関係法令対応必要、特にCS/SU対応が急務 2) 規制: 緩和要望や調整の継続活動、及び情報把握や他団体との連携要 3) 安全性: ABSの安全性・ROCの横転抑制効果の周知普及活動の継続要 4) 日常点検: 車両火災と脱輪事故予防のため点検重要性周知活動の継続要 5) 整備事業者: 点検分解整備記録簿の周知・改善活動の継続要 6) 純正部品: トレーラメーカーの総意として、純正部品使用周知活動の継続要 7) 環境及びカーボンニュートラル(CN): 車工会全会員の対応要
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> 1) 従来からの活動である下記の周知活動を継続して取組む 「安全への取組み」、「関係法令の改正などに伴う的確な対応」、「品質技術向上」、 「会員事業の活性化支援活動」、「環境への取組み」、「経年車の安全な使用に向けて」 2) 2015年度から新たな取組みとして実施した「点検整備の必要性が顧客に展開・周知できる仕組みの整備」の活動を本年度も継続して取組み、更に充実させていく 3) カーボンニュートラル(CN)は個社活動を積極的に取組み成果を出してゆくとともに、好事例をトレーラ部会内で共有して良いとこ取りをしていく
バス	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> 1) バス事業者のみならず新車陸送業者のドライバー不足、及び2024年問題の対応が急務 2) CNやドライバー不足対応として、EVバスや連節バスの増加、自動運転の導入等
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> 1) バリアフリー対応推進(色覚含む)、バス車体安全対応の効率的な設計/製造 2) 会員各社及び他団体(自工会、日本バス協会、他)との連携強化促進 3) 安全性と品質の更なる向上に向けた活動の積極的な推進

3 - 1. 部会の現状認識と活動方針

部会		内容
小型	現状認識	1) CASE、MaaS等に加えC Nへの対応が急務
	活動方針	1) 会員間で連携を密に取り、工業会全体の運営に積極的に参画し、車体業界ならびに日本産業界の発展へ寄与する 2) 会員間、異業種企業との「つながり」および「相互研鑽」を促進する
資材	現状認識	1) 会員数107社予定（2024年度 入会 1社） 2) 最近の新入会員の入会目的は技術、法規情報の入手、難燃性素材の登録関係が主 3) 会員構成は大企業から中小企業まで幅広く分布しており多様 4) カーボンニュートラル、SDGs等の対応 5) 2024年のバス生産状況はインバウンドもあり増加傾向 6) 非量産車がほぼ前年比同 7) 自動車平均使用年数の長寿命化 8) ECE規格等国际規格への対応
	活動方針	1) 部会からの会員の新製品、会社としての環境対応の取組等有益な情報発信 2) 部会としての安全をテーマに再帰反射材の貼付促進活動実施

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
特装 部会	部会	部会長	小田 浩一郎	新明和工業(株)	常務執行役員 経営企画本部長
		副部会長 *	木津 輝幸 赤坂 学	極東開発工業(株) カヤバ(株)	取締役常務執行役員 特装事業部長 上席常務執行役員 特装車両事業部長
		部会監事	有吉 実	イワフジ工業(株)	代表取締役社長
	技術 委員会	委員長	長田 善彦	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
		副委員長	新井 佳和	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	サービス 委員会	委員長 *	嶋田 弘明	新明和オートエンジニアリング(株)	サービス本部長
		副委員長	松本 譲	小平産業 (株)	営業部 部品・修理担当課長
			山口 健治	極東開発工業(株)	サービス本部関東サービス課 課長
	業務 委員会	委員長	西村 誠	新明和工業(株)	営業本部直販営業部 部長
		副委員長 *	宮野 圭司 眞田 淳二	極東開発工業(株) (株)タダノ	営業本部中部支店長 国内営業企画第二部 部長

3-2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
各分科会 主査	ダンプ車	技業	新井 佳和 藤野 努	極東開発工業(株) 新明和工業(株)	技術本部営業技術部 部長 営業本部東京営業部 部長
	脱着キャリア	技業	松下 晃久 平島 尚	新明和工業(株) 新明和工業(株)	佐野工場設計部ダンプ・脱着Gグループ長 営業本部 直販営業部 副部長
	脱着車 コンテナ	技業	三ッ井 実 佐々木 靖彦	極東開発工業(株) 極東開発工業(株)	生産本部横浜工場第二設計課 課長 営業本部首都圏支店長
	ミキサ車	技業	上條 崇史 鈴木 康彦	カヤバ(株) カヤバ(株)	熊谷工場技術部 部長 特装車両事業部営業部 部長
	塵芥車	技業 *	木村 隆寿 西村 誠	新明和工業(株) 新明和工業(株)	特装車事業本部広島工場設計部 部長 営業本部直販営業部 部長
	クレーン	技業 *	鈴木 和幸 眞田 淳二	古河ユニツク(株) (株)タダノ	開発設計部架装設計課 課長 国内営業企画第二部 部長
	ローリ	技業	天川 英樹 倉沢 俊彦	昭和飛行機工業(株) 東邦車輛(株)	陸上輸送機器事業部設計技術部 特殊車両設計課主査 営業本部特装販売促進課 担当部長
	粉粒体 運搬車	技業	清藤 英樹 宮野 圭司	極東開発工業(株) 極東開発工業(株)	名古屋工場設計課第一グループ 係長 営業本部中部支店長
	清掃車		松岡 誠	兼松エンジニアリング(株)	技術開発部 マネージャー

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
特種 部会	部会	部会長	森 孝義	中京車体工業(株)	代表取締役社長
		副部会長	内海 嘉則 西岡 偉久	(株)オートワークス京都 東京特殊車体(株)	取締役COO 代表取締役社長
		部会監事 *	坪井 弘一	坪井特殊車体(株)	代表取締役社長
	技術 委員会	委員長 *	常盤 博之	東京特殊車体(株)	経営戦略室 次長
		副委員長 *	若井 幸一	いすゞ車体(株)	先行開発部 部長
			寺川 章太	(株)イズミ車体製作所	業務部 業務課 係長
			安部 康一	日産モータースポーツ&カスタイズ(株)	カスタマイズ技術管理部 スペシャリスト
			佐藤 聖哲	(株)トヨタカスタマイジング & デイハツ プロメント	開発本部 名古屋技術部 第2特装開発室第5車両G グループ長
			武澤 真幸	(株)野口自動車	設計部 部長
		アドバイザー *	小坂 浩二	(株)トヨタカスタマイジング & デイハツ プロメント	品質保証室 室長
	業務 委員会	委員長 *	神尾 将光	(株)ケイエムオー	代表取締役
		副委員長	稲見 龍	京成自動車工業(株)	常務取締役
			野口 隆行	光伸(株)	代表取締役社長
			堀田 和宏	札幌ボデー工業(株)	代表取締役社長
			殿内 崇生	(株)トノックス	代表取締役社長

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
トラック 部会	部会	部会長 *	近藤 匠	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長
		副部会長 *	山田 和典	山田車体工業(株)	代表取締役社長
			藤田 健一郎	フジタ自動車工業(株)	代表取締役社長
		部会監事 *	細谷 康次	本所自動車工業(株)	代表取締役社長
	技術 委員会	委員長	岸本 友介	NX商事(株)	整備制作部東京製作所設計第一課 課長
		副委員長	山田 直樹	山田車体工業(株)	製造部技術課 課長
			大橋 剛	(株)浜名ワークス	技術部特殊車設計グループ課長
	業務 委員会	委員長 *	山田 和典	山田車体工業(株)	代表取締役社長
		副委員長	細谷 康造	本所自動車工業(株)	取締役
			加藤 俊宏	(株)相模ボデー	代表取締役社長
	車両運搬車 分科会	分科会長	細谷 貞治	細谷車体工業(株)	代表取締役社長

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
バン 部会	部会	部会長	田中 俊和	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長
		副部会長	矢野 彰一	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
			秋山 健	(株)パプコ	代表取締役社長
		部会監事	澤口 耕	(株)トランテックス	常務取締役
	技術 委員会	委員長	岩本 好昭	日本フルハーフ(株)	開発部第一部 部長
		副委員長	中川 信之	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部技術部本部 本部長
			渡邊 篤史	パプコ(株)	製品開発本部 設計1部ボデー設計グループ マネージャー
	業務 委員会	委員長 *	最所 英己	日本フルハーフ(株)	営業・CS企画部 部長
		副委員長 *	田崎 嗣朗 川原 陽介	(株)トランテックス (株)矢野特殊自動車	南関東営業部 大手広域担当室シニアアドバイザー 中央営業部 部長

3-2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
トレーラ 部会	部会	部会長	高崎 文弘	日本トレクス(株)	代表取締役社長
		副部会長	富田 政行	東邦車輛(株)	取締役社長
			服部 敏秀	日本フルハーフ(株)	取締役
			能條 幹也	(株)花見台自動車	代表取締役
	部会監事	青柳 繁生	NX商事(株)	東京製作所 営業第一課長	
	技術 委員会	委員長	森 孝夫	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
		副委員長	中津留 徹也	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
			渡辺 英彦	日本フルハーフ(株)	開発第二部 製品グループリーダー
	サービス 委員会	委員長	酒巻 徹	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット 担当部長
		副委員長	時田 宗一	東邦車輛(株)	サービス事業本部 サービス部 技術課 課長
			* 松尾 文徳	日本トレクス(株)	サービス部 部長
	製品安全 小委員会	委員長	* 山本 輝雄	日本トレクス(株)	執行役員 サービス本部 副本部長 兼 品質保証部 部長
		副委員長	長嶋 隆	東邦車輛(株)	技術統括部 品質管理部 部長
			* 金子 保裕	日本フルハーフ(株)	品質保証部 担当部長
	業務 委員会	委員長	* 村中 洋	東邦車輛(株)	営業本部 副本部長 兼 業務部長
		副委員長	梶ヶ谷 剛	日本トレクス(株)	マーケティング部 部長
		酒巻 徹	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット 担当部長	

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
バス 部会	部会	部会長	藤岡 佳一郎	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長
		部会監事 *	渡辺 昌也	日産車体(株)	常務執行役員
		部会役員	石川 拓生 西原 正人	トヨタ車体(株) ジェイ・バス(株)	執行役員 代表取締役社長
	技術 委員会	委員長 *	古川 義治	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 部長
	ワンマン機器 小委員会	委員長	水野 貴弘	ジェイ・バス(株)	小松製品企画・開発設計部 先行・実験G GL
	塗装デザイン 研究会	委員長	手塚 学	ジェイ・バス(株)	製造部 管理課 課長
	業務 委員会	委員長	西岡 衛	三菱ふそうバス製造(株)	バス工作部 部長
小型 部会	部会	部会長 *	松尾 勝博	トヨタ車体(株)	代表取締役社長
		部会監事	原田 聡	トヨタ自動車九州(株)	生産企画本部長
	技術 委員会	委員長	苅和 直人	トヨタ車体(株)	L C 事業部 企画・統括 主査
		副委員長	草間 弘樹	日産車体(株)	内外装設計部 部長
	経営企画 部門委員会	委員長	林田 慎太郎	トヨタ自動車東日本(株)	地域連携推進領域長
		副委員長	鷹見 昭人	トヨタ自動車九州(株)	コーポレート本部 統括部長

3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
資材 部会	部会	部会長 *	市橋 康男	市岡(株)	代表取締役社長
		副部会長	川名 一嘉	(株)矢口製作所	代表取締役社長
		監事 *	榎本 徹	(株)オージ	相談役
	第一 分科会		久保 航一	(株)昭和	取締役会長
		分科会長 *	藤池 一誠	(株)デサン	代表取締役社長
			吉澤 朋宏	住江織物(株)	執行役員車両資材事業部門長
			大田 紘	シーカ・ジャパン(株)	バイスプレジデント
			吉川 徳雄	天龍工業(株)	代表取締役社長
			山田 徹	吉村製材(株)	第三営業グループ 部長
	第二 分科会	分科会長 *	松澤 寿一	(株)松沢商会	代表取締役社長
			鈴木 基之	(株)エスワイエス	代表取締役社長
			中園 英太郎	(株)五光製作所	代表取締役社長
			西田 一成	泰平電機(株)	代表取締役社長
			黒木 政裕	レシップ(株)	販売推進部 C V 営業グループ グループ マネージャー

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画（特装部会）

会長：小田理事 事務局：上坂

◎：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

特装部会	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度																	評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
部会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開と 部会、分科会活動見直し、効果的な 会議運営を図る。	(1)部会総会及び部会長報告会の実施 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2030年度CN目標達成に向けた活動 各社の事例を部会内へ提供 (6)部会、分科会活動の見直し	部会	☆総会																		
技術委員会	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の 共有と法規対応への課題の整理、 対応	(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①法規改正案に対する意見収集と発信 ②協定規則採用動向調査及び周知 (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 ①CS/SU&コネクテッド検討WGからの情報共有 ②R39（スピードメーター） ③R73（サイドバンパー）	技術委員会																			
部会	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究 の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による 品質向上。共同で調査研究する ことによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 ①JABIA P1150(吸引清掃車の油圧機構に関する安全基準)改定 (2)調査研究テーマの検討 (3)JABIA規格の棚卸 ①石油類運搬用アルミニウム合金製タンクトレーラの安全構造基準 ②脱着装置付コンテナ自動車の緊締装置の強度基準 ③塵芥車荷箱容積中心位置の算出基準	部会																			
サービス委員会	4. 安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及。	(1)メンテナンスニュースによる周知活動 ①ニュース№60（ダンプ（ローダー含む）） ②ニュース№61（強力吸引車） (2)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (3)その他部会固有の周知活動 異業種等工場見学	サービス委員会	情報入手																		
業務委員会	5. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)中小会員の困り事収集と対応論議	業務委員会	適宜共有・議論																		
部会	6. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体への自動車関連分野に おける知見の提供。情報交換等による、技 術レベル/品質の向上 ※自動車用燃料(ガソリン)へのバイオエタノールの導入拡大を実現 するための基本コンセプトを策定するタスクホース	(1)経済産業省資源エネルギー庁バイオETF※への参画 (2)消防学校等（塵芥車を使用した）講習会への協力	部会	初回の面談後、実施回数を決定																		

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画（特種部会）

部会長：森理事 事務局：小森

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) ー：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特 種 部 会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化	(1)部会総会、合同委員会(4回/年)の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の開催（3回/年）内1回は若手対象 (5)CN達成に向けた活動 ・本部が主導する説明会・セミナーの部会展開	部 会	○総会		○#1 6/27			○#2 9/19		○#3 11/14		○#4 2/13		(1) (2) (3) (4) (5)		
	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・法規改正案に対する意見反映と改正内容の共有 ・本部WG活動情報の共有（TGL、突入防止等） (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 自動車技術総合機構との技術検討会の開催 による 法規解釈、車検時の課題等の解決	技 術 委 員 会												(1) (2)		
	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 ・中央技術委員会エントリー項目の推進 ・JABIA規格棚卸し ・ 特種要件見直し項目の確認と対応 (2)調査研究テーマの検討	業 務 委 員 会			○			○			○			(1) (2)		
	4. 安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進	(1)安全に関する事例共有 (2)特種特有部位の安全点検に関する論議 （論議必要項目の有無確認と論議）	公 報 ・ 事 務 局														
	5. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)中小会員の困り事収集と対応論議 (3)安全衛生活動WG情報の共有 (4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等)	公 報 ・ 事 務 局														
	6. 他団体との連携	2.（2）で実施													2.（2）参照		
	7. 車体NEWS 〈ねらい〉部会担当記事の期限内 提出と内容の充実	部会担当記事作成会社の確認と記事内容の論議															

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画（トラック部会）

部会長：近藤理事 事務局：鶴見

○：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ト ラ ッ ク 部 会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2030年度CN目標達成に向けた活動	部 会	○ 10			○ 25			○		○			○		
							発生の都度										
						見学会の検討・計画					○		○				
							発生の都度										
ト ラ ッ ク 部 会	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・R158,R165,R155等の進捗情報共有を継続 (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等	技 術 委 員 会			○ 13	○		○		○		○		○		
									委員会開催の都度								
									委員会開催の都度								
ト ラ ッ ク 部 会	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)バン・トラック荷台の安全対策 JABIA規格見直し ・2024年度より継続項目 (2)メンテナンスニュースの発行 ・平ボデーメンテナンスニュース(灯火器編) (3)調査研究テーマの検討 (4)技術委員会による工場見学	技 術 委 員 会														
ト ラ ッ ク 部 会	4. 架装物の安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)メンテナンスニュースによる周知活動 (2)点検整備推進分科会協議内容の共有・論議 (3)その他部会固有の周知活動	点 検 整 備 推 進 分 科 会														
ト ラ ッ ク 部 会	5. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	(1)日本陸送協会との合同研修 ・車両運搬車を取り巻く環境と安全対策報告 ・作業者安全対策の情報を共有 (2)車両運搬車の法規と安全対策	車 両 運 搬 車 分 科 会	○ 21 第一回分科会						○ 第二回分科会							
ト ラ ッ ク 部 会	6. 会員企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉会員企業会員の困り事に	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)会員企業の困り事収集と対応論議 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ・預かり車両トラブルの対応 ・トラックの登録台数調査 (3)安全衛生活動WG情報の共有 (4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等)	業 務 委 員 会			○ 17			○	○					○		

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画（バン部会）

部会長：田中理事 事務局：鶴見

●：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
バン部会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会 等の実施 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)業務委員会主導での2030年度CN目標達成に向けた活動 ・CN活動の意識向上に向けた取組み ・各社取組み事例等の情報共有 ・未着手会員へのフォロー	部会	○ 24 総会		○ 4			○ 3			○ 3			○ 18		
									発生の都度								
									発生の都度								
			会									○ 仮					
バン部会	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・R158-後退時車両直後確認装置 ・R165-車両後退通報装置 ・R155-CSSU・コネクテッドWG (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等	技術委員会	○ 4		○ 5		○		○	○				○		
バン部会	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 ・安全輸送ニュースの発行（冷凍機付きバン型車の取り扱い） ・JABIA規格「バン・トラック荷台の安全対策」改訂 (2)調査研究テーマの検討	委員会	項目の抽出	内容の検討	素案提出						作成		最終確認	部会展開		
				項目の抽出	内容の検討							作成		最終確認	部会展開		
																☆	
バン部会	4. 架装物の安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)メンテナンスニュースによる周知活動 (2)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (3)その他部会固有の周知活動	検査整備推進分科会														
バン部会	5. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等による、技術レベル/品質の向上	(1)日本冷凍空調工業会との交流 ・冷凍機器の動向、市場情報等入手	技術委員会									○					
バン部会	6. 会員企業経営支援、困り事対応 〈ねらい〉会員企業会員の困り事に対する支援	(1)登録台数と市場動向データ情報の共有 (2)中央業務委員会内容の共有・論議 (3)会員企業の困り事収集と対応論議 (4)安全衛生活動WG情報の共有 (5)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有安全 (6)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等)	業務委員会		○ 19			○ 28		○					○		

2025年度事業計画（トレーラ部会）

部会長：高崎理事 事務局：岩満

[illegible]

2025年度事業計画（バス部会）

技：技術委員会、ワ：ワマン機器小委員会、塗：塗装デザイン研究会、掌：掌務委員会

○:計画、●:実施済

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担 当	日 程 2025年度																評 価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
バ	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の 展開、活動による活性化。	(1) 部会総会、部会長報告会の実施 (2) 車両法規改正情報の展開状況の共有 (3) リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4) 異業種工場見学会の実施 (5) 2030年度CN目標達成に向けた活動 技術委員会/ワンマン合同会議で個社活動状況の共有 (6) 会員困りごと収集と対応論議(採用問題など)	事 技 ワ 業	○総会 発生都度 発生都度 検討・決定 個社活動 業														部会長報告→	(1) 部会総会(4/16)、部会長報告(2月予定) (2) 都度実施 (3) 都度実施、2025年度:0件(2025/4/11時点) (4) TBD (5) 1)ジェイ・バス、2)三菱ふそうバス製造、3)トヨタ車体、4)日産車体 各社の取組みで2024年度報告済分からの変化点を共有予定 (6) 業務委員会で論議		
	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の 共有と法規対応への課題の整理、対応	(1) 新法規制定、法規変更内容の共有 1) R165 車両後退通報装置 2) 他（3点ベルト、チャイルドシート、幼児バスシートベルト、等）	技	●WG参画 WG・他団体分科会参画	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(1) 技術委員会にて実行中（済:4月、次回:5/14予定） 1) 車工会WG内容共有と対応 2) 都度対応	
ス	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究 の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による 品質向上。共同で調査研究する ことによる効率化、経費節減	(1) JABIA規格の改正（棚卸2件） 1) 「バス用運賃表示器」B1003-2020 改正 2) 「バス用乗降中表示灯」B1008-2020 改正 (2) 「バス車体規格集2026年版」発行に向けた検討（2/3年目） 5年毎の定期見直し (3) バス車体塗色見本帳2023年版の拡販（販売対象500冊）	ワ 技 塗	●検討 現状把握 バス協要望集約 適宜	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1) ワンマン機器小委員会にて実行中（済:4月、次回:5/13予定） 1) 現状把握 2) 現状把握 (2) 技術委員会にて実行中（済:4月、次回:5/14予定） バス協アンケート4/30期限 (3) 販売実績(冊) 2023:57、2024:84、累計:141/500		
	4. 安全点検整備の推進	－（バス部会該当せず）																			
会	5. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1) 塗装技術者向け勉強会：関西ペイント(株)	塗	調整 展開 集約															(1) 1Q調整、2Q募集、3Q開催		
	6. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	(1) 自工会バス分科会参画 1) 次期JANSTEPバス標準仕様の検討、計画 報告書の共有 2) 車外カメラモニターシステム(CMS)の研究（3/4年目） 3) 新規研究課題 (2) 関連団体(JASIC/JSAE//バス協会等)活動への参画 1) 一般安全分科会（GRSG） 2) 衝撃吸収分科会（GRSP） 3) 3点式ベルト対応（3SBBC） 4) チャイルドシート対応（STCBC） 5) VRU-Proxi TF 6) 日本バス協会中央技術委員会 全国大会(10/30)、幹事会(8月,3月)	技 ・ ワ	● ● ● 分科会・WG参画	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1) バス分科会参画中（済:4月、次回:5/14予定） 1) 大型車部会審議後、展開予定(4月) 2) 2025年度研究内容の共有 3) 臨時バス分科会にて集中討議予定 (2) 1) 都度参画中（状況は技術委員会にて共有中） 2) 都度参画中（状況は技術委員会にて共有中） 3) 都度参画中（状況は技術委員会にて共有中） 4) 都度参画中（状況は技術委員会にて共有中） 5) 都度参画中（状況は技術委員会にて共有中） 6) 幹事会(8月)		
	7. 車体NEWS 〈ねらい〉部会担当記事の期限内 提出と内容の充実	(1) 記事作成会員と記事内容の確認(25年度)&決定(26年度) (2) 我が社の元気人：日産車体(株) (3) コーヒーブレイク：ジェイ・バス(株)	部 会	○総会 原稿作成 ○秋号発行 原稿作成 ○冬号発行															(1) 部会総会にて確認・決定(4/16予定) (2) 秋号発行(9/16予定) (3) 冬号発行(12/15予定)		

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画(小型部会)

部会長：松尾理事 事務局：松本

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上)
△:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) —:評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小 型 会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉 部会内の横断的事業の展開・活動による部会&車工会の活性化	(1)部会総会の実施 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施@トヨタ車体(11/14) (5)2030年度CN目標達成に向けた活動 訪問支援活動 支援メンバーの派遣	部 会	○ 17													(1)部会総会を実施(4月17日 5社**名参加) (3)随時展開 (4)吉原工場(ランクル製造)+使われ方/車を鍛えるを学ぶ (5)環境委員会と連携し推進
	2. 車両関係法規の対応	－(小型部会該当せず)															
	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進	－(小型部会該当せず)															
	4. 架装物の安全点検整備の推進	－(小型部会該当せず)															
	5. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉 中小企業会員の困り事に対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)中小会員の困り事収集と対応論議 (3)安全衛生活動WG情報の共有 (4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等) 技能系社員研修の受入れ(トヨタ東日本)															(3)随時展開 (5)3拠点開催→1拠点開催(輪番制) ※25:トヨタ自動車東日本、26:日産車体、27:トヨタ車体
	6. 他団体との連携	－(小型部会該当せず)															
	7. 部会固有活動 〈ねらい〉 異業種の取組みを学び、自社事業への参考とする 会員間で相互を学び、自社事業への参考とする	(1)異業種訪問の実施@伊那食品工業(9/17) ※各社課題(SDGs、CN、地域貢献、経営施策)をキーワードに選定 (2)技術委員会 技術ワイガヤ会の開催(委員対象) 若手エンジニア技術交流会の開催(各社の従業員対象) (3)経営企画部門委員会 経営課題ワイガヤの開催(委員対象)	技 術・ 経 企 技 術 経 企	調整 ○		案内 ○		実施 ☆ 9/17(水)					調整 ↑				(1)伊那食品の経営手法である「年輪経営」を学ぶ (2) 技術ワイガヤを4・7・1月に開催 会員工場見学会と合同開催(事前+事後MTG実施) (3) 各社の経営課題&施策のワイガヤ 各社課題を基に25年度異業種視察につなげる

3-3. 部会事業計画

2025年度事業計画（資材部会）

部会長：市橋理事 事務局：信澤

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) —：評価対象外

資材部会	項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
				○	25												
資材部会	1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会、部会長報告会 等の実施	部会														
		(2)車両法規改正情報の展開状況の共有															
		(3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動															
		(4)工場見学会の実施															
		(5)2030年度CN目標達成に向けた活動															
		(6)役員会の開催（年2回予定 上期、下期）															
		(7)分科会活動の推進（第一分科会、第二分科会）															
資材部会	2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ECE対応への取組 ・R158-後退時車両直後確認装置 ・R165-車両後退通報装置	各グループ														
		(2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 車体塗装の技術・技能向上への参画（塗装技術者向け勉強会）															
資材部会	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究 の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 バス部会等他部会との協力 ・中央技術委員会エントリー項目の推進 ・JABIA規格棚卸し：JABIA規格制定、改定への参画 ・部会内活動 (2)調査研究テーマの検討、推進 フィルムグループ：安全対応として再帰反射材貼付効果の検証	各グループ														
資材部会	4. 安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)難燃性JABIA素材登録の適切な運用 ・難燃性試験実態調査の実施推進 (2)その他部会固有の周知活動	各グループ														
資材部会	5. 環境への取組み 〈ねらい〉環境にやさしい車体作りの促進。	(1)環境リサイクルへの取組事例 (2)VOC排出量調査状況の共有	各グループ														
資材部会	6. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)部会会員の会社、製品、技術の情報発信（機関誌、WEBの活用） (2)中小会員の困り事収集と対応協議 (3)中小会員向け研修の検討	役員会														
資材部会	7. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	JSAE、JASIC、国交省 等 (1)自動車技術会 車室内VOC測定分科会 (2)基準認証国際化センター(JASIC)灯火器分科会 (3)国交省 反射式ナンバー検討会	各委員・事務局														

4. 支部事業計画及び支部概要一覧

4-1) 支部事業計画一覧

		北海道	東北	新潟	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
支部総会		4月24日 札幌東急REIホテル	4月22日 江陽グランドホテル	4月18日 万代シルバーホテル	4月15日 芝パークホテル	4月17日 名鉄グランドホテル	4月25日 ホテルグランドイア京都	5月16日 ANAクラウンプラザ広島	4月25日 リーガホテルベスト高松	4月23日 八仙閣本店
役員会		3回 部会・総会 活動検討	1回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	2回 事業計画等検討	6回 内 企画会議 5 回	2回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討
安全	不正改造 排除活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境	CN本部情報 展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CN勉強会	○	○		○	○	○	○	○	○
その他	PL保険 加入促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	他	合同部会	工場見学会	会員大会	県会内査察 見学会	部会、分会 見学会	部会・・3回 見学会	研修会	見学会 秋季研修会	部会 営業地区会 見学会

4. 支部事業計画及び支部概要一覧

4-2) 支部概要

支部名	支部長 (所属会社・役職)	会 員 数				事務局位置 () は担当職員
		正 会 員	地 方 正 会 員	準 会 員	計	
北海道	村松 寛明 北海道車体(株) 代表取締役社長	7	6	2	15	北海道北広島市大曲工業団地2丁目7-3 北海道車体(株)内 011-376-2111 (三浦事務局長)
東北	鈴木 勇人 仙台鈴木自動車工業(株) 代表取締役	8	10	1	19	宮城県仙台市宮城野区扇町3-8-34 仙台鈴木自動車工業(株)内 022-231-9196 (日野事務局長)
新潟	丸山 正範 (株)丸山車体製作所 代表取締役社長	4	12	1	17	新潟県新潟市江南区両川1丁目1201-13 (株)松沢商会 内 025-280-6800 (松澤事務局長)
関東	星 浩由 (株)ヤシカ車体 代表取締役	77	28	1	106	東京都港区芝大門1-1-30 (一社)日本自動車車体工業会内 03-3578-1681 (内藤担当)
中部	安藤 章宏 (株)東海特装車 取締役社長	28	9	6	43	愛知県名古屋市昭和区滝子町30-16 愛知県自動車会館内 4F 052-881-5255 (満留事務局長)

支部名	支部長 (所属会社・役職)	会 員 数				事務局位置 () は担当職員
		正 会 員	地 方 正 会 員	準 会 員	計	
近畿	須河 進一 須河車体(株) 代表取締役社長	10	8	4	22	京都府綴喜郡宇治田原町立川坂口13番地 須河車体(株)内 0774-88-4641 (並木事務局長)
中国	上野 孝弘 フェニックス工業(株) 代表取締役 社長	11	8	1	20	広島県廿日市市木材港北13-1 共立工業株式会社 内 0829-31-2255 (河野事務局長)
四国	北村 和則 兼松エンジニアリング(株) 常務取締役	4	6	0	10	高知県高知市布師田3981番地7 兼松エンジニアリング(株)内 088-845-5511 (林事務局長)
九州	矢野 彰一 (株)矢野特殊自動車 取締役社長	9	9	3	21	福岡県糟屋郡新宮町上府北4丁目2-1 (株)矢野特殊自動車内 092-963-2017 (古賀事務局長)
合 計		158	96	19	273	

第4号議案

2025年度 予算書

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2025年5月23日
一般社団法人 日本自動車車体工業会

2 0 2 5 年度収支予算（案）	-----	1
2 0 2 5 年度正会員・準会員会費基準	-----	3

2 0 2 5 年度収支予算（案）

1. 経常費

(収入の部)

科 目	24年度 予算①	24年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	25年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備 考
当期収入計 A	187,654	192,924	102.8%	176,819	10,835	94.2%	
正会員会費収入	107,192	108,700	101.4%	121,329	△14,137	113.2%	
準会員会費収入	5,088	5,108	100.4%	5,136	48	100.9%	
部会会費収入	19,473	19,584	100.6%	20,115	642	103.3%	
支部会費収入	14,618	15,066	103.1%	911	△13,708	6.2%	
負担金収入	8,184	6,813	83.2%	16,982	8,798	207.5%	
雑収入	2,753	3,203	116.3%	2,000	△753	72.7%	
収益事業収入 (バス塗色見本帳)	700	1,469	209.8%	700	0	100.0%	
繰入金収入	20,000	23,332	116.7%	0	△20,000	0.0%	
本部負担金	9,647	9,650	100.0%	9,647	0	100.0%	
前期繰越収支差額 B	88,956	88,956	100.0%	99,782	10,827	112.2%	
収入合計 C (A + B)	276,610	281,880	101.9%	276,601	8,768	100.0%	

(支出の部)

科 目	24年度 予算①	24年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	25年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備 考
事業費計 D	154,140	128,798	83.6%	149,574	4,566	97.0%	
環境対策事業費	14,043	11,365	80.9%	13,426	616	95.6%	
安全対策事業費	20,152	14,021	69.6%	14,395	5,758	71.4%	
会員支援事業費	16,731	12,909	77.2%	16,323	407	97.6%	
広報事業費	14,588	11,478	78.7%	14,516	72	99.5%	
部会事業費	52,710	46,572	88.4%	52,953	△243	100.5%	
支部事業費	26,082	21,924	84.1%	24,928	1,153	95.6%	
本部負担金	6,542	6,542	100.0%	6,542	0	100.0%	
負担金支出	2,593	2,518	97.1%	5,790	△3,198	223.3%	
収益事業費	700	1,469	209.8%	700	0	100.0%	
管理費計 E	30,155	26,420	87.6%	29,196	959	96.8%	
人件費 F	22,824	20,679	90.6%	23,057	△233	101.0%	
経常費計 G (D + E + F)	207,119	175,897	84.9%	201,827	5,292	97.4%	
積立金 H							
退職金準備金(積立)	2,200	2,200	100.0%	2,200	0	100.0%	
特定プロジェクト準備金(積立)	4,000	4,000	100.0%	4,000	0	100.0%	
備品更新準備金(積立)	0	0	-	250	△250	-	
予備費 I	63,291	0	0.0%		63,291	0.0%	
支出 J (G + H + I)	276,610	182,097	65.8%	208,277	68,333	75.3%	

2. 積立金支出

科 目	24年度 予算①	24年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	25年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備 考
退職金支出							
特定プロジェクト支出	6,000	2,119	35.3%	9,200	△3,200	153.3%	
バス車体塗色見本帳支出	2,905	2,905	100.0%	0	2,905	0.0%	
自動車5団体連絡事業支出	20,000	20,000	100.0%	0	20,000	0.0%	
備品更新支出	600	607	101.1%	0	600	0.0%	

2025年度 正会員・準会員会費基準

2025年度 正会員・準会員会費基準 (単位：円)

1. 正会員会費 (年額)

- ◆ 正会員年会費 = 売上高分担会費(1)×係数(※)+資本金額高別分担会費(2)+部会費3
 ※2025年度 係数は0.85を提案

(1) 正会員の売上高別分担会費 (年額)

ランク	売上高区分(年間)	会費額	係数	会費徴収額
1	2400億円以上	2,628,000	0.85	2,233,800
2	1200 "	2,232,000		1,897,200
3	600 "	1,836,000		1,560,600
4	360 "	1,572,000		1,336,200
5	240 "	1,500,000		1,275,000
6	120 "	1,404,000		1,193,400
7	60 "	1,212,000		1,030,200
8	36 "	1,092,000		928,200
9	24 "	1,020,000		867,000
10	12 "	948,000		805,800
11	10億8千万円以上	816,000		693,600
12	9億6千万円 "	756,000		642,600
13	8億4千万円 "	708,000		601,800
14	7億2千万円 "	600,000		510,000
15	6億円 "	504,000		428,400
16	4億8千万円 "	420,000		357,000
17	3億6千万円 "	324,000		275,400
18	2億4千万円 "	222,000		188,700
19	1億2千万円 "	156,000		132,600
20	6千万円以上	96,000		81,600
21	6千万円未満	66,000		56,100

(2) 正会員の資本金額高別分担会費 (年額)

区別	ランク	資本金の額	会費額
専業	1	40 億円以上	1,450,000
	2	30 "	1,080,000
	3	20 "	770,000
	4	10 "	470,000
	5	5 "	230,000
	6	1 "	110,000
	7	5,000万円以上	40,000
	8	2,000 "	26,000
	9	1,000 "	20,000
	10	500 "	14,000
	11	500 万円未満	10,000
兼業	A	20 億円以上	160,000
	B	10 "	110,000
	C	10 億円未満	60,000

・「兼業」の定義

大企業のうち、車体工業会事業部門の
 売上高比率が会社全体の10%に満たない会員
 ※大企業
 資本金が3億円を超え、かつ常時使用する
 従業員数が300人を超える会社

2. 準会員会費 (年額)

- ◆ 準会員年会費 = 準会員会費 + 部会費3 (資材)

準会員会費	48,000	1	48,000
-------	--------	---	--------

3. 部会員会費 (年額)

部会	会費額	係数	2025年度
特装	30,000	1	30,000
分科会費 (所属分科会につき)	30,000	1	30,000
特種	60,000	0.75	45,000
トラック	48,000	1	48,000
バン	60,000	1	60,000
トレーラ	192,000	1	192,000
バス	大中型 100	0	0
※所属会員で均等負担	小型 30	0	0
小型	180,000	1	180,000
資材	48,000	1	48,000

4. 支部会員会費 (年額)

支部名	会費基準	会費額
北海道	一律	30,000
東北	一律	25,000
新潟	正会員、地方正会員、地域会員	36,000
	地方正会員で新潟に本社があり 県外の営業所等の事業所の会費	12,000
関東	正会員、地方正会員	12,000
	地域会員 ※負担金18,000円を含む	30,000
中部	正会員 (年間生産額を基準に計算)	360億～ 240,000
		120億～ 120,000
		12億～ 90,000
		6億～ 60,000
		3.6億～ 48,000
		1.2億～ 36,000
		～1.2億 24,000
	地方正会員	24,000
	地域会員 ※負担金18,000円を別途 (年間生産額を基準に計算)	12億～ 90,000
		6億～ 60,000
		3.6億～ 48,000
		1.2億～ 36,000
		～1.2億 24,000
	準会員	24,000
支部名	会費基準	会費額
近畿	正会員、地方正会員 (売上を基準に計算) ※通常会費43,000円含む	10億～ 88,000 5億～ 78,000 ～5億 68,000
	地域会員 (売上を基準に計算) ※通常会費43,000円含む	10億～ 88,000 ～10億 78,000 ～5億 68,000
	準会員	31,000
中国	正会員、地方正会員	20,000
	地域会員	38,000
四国	正会員、地方正会員	20,000
	地域会員 ※上記に18,000円を加算	38,000
九州	正会員、地方正会員 (年間生産額を基準に計算)	36億～ 180,000
		18億～ 144,000
		9.6億～ 108,000
		5.4億～ 72,000
		2.4億～ 42,000
	地域会員 (年間生産額を基準に計算) ※負担金18,000円を含む	～2.4億 24,000
		～9.6億 90,000
		～5.4億 42,000
		～2.4億 24,000
		24,000
	※部会費は1部会24,000円を加算 (トラック、バン、トレーラ、特装)	

2025-2026年度 理事・監事(案)

自 2025年 5月23日
至 2027年 5月通常総会終了日

相談役	宮内 一公 増井 敬二
-----	----------------

* 印：2025年5月通常総会での新任理事

		氏 名	会 社 名	会 社 役 職	車体工業会役職
理 事	本部 役員	畠山 隆 * 石川 洋之 布原 達也 矢野 彰一	日産車体(株) トヨタ自動車東日本(株) 極東開発工業(株) (株)矢野特殊自動車	代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長	会 長 副 会 長 副 会 長 副 会 長 (バン部会理事・九州支部長兼務)
	特装部会	小田 浩一郎 木津 輝幸	新明和工業(株) 極東開発工業(株)	常務執行役員 経営企画本部長 取締役常務執行役員 特装事業部長	部 会 長 副部会長
	特種部会	森 孝義 内海 嘉則 西岡 偉久	中京車体工業(株) (株)オートワークス京都 東京特殊車体(株)	代表取締役社長 取締役COO 代表取締役社長	部 会 長 副部会長 副部会長
	トラック部会	近藤 匠 山田 和典 藤田 健一郎	名古屋ボデー(株) 山田車体工業(株) フジタ自動車工業(株)	代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長	部 会 長 副部会長 副部会長
	バン部会	田中 俊和 秋山 健 (矢野 彰一)	日本フルハーブ(株) (株)パプコ (株)矢野特殊自動車	代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長	部 会 長 副部会長 副部会長
	トレーラ部会	高崎 文弘 富田 政行 能條 幹也	日本トレクス(株) 東邦車輛(株) (株)花見台自動車	代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長	部 会 長 副部会長 副部会長
	バス部会	藤岡 佳一郎	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長	部 会 長
	小型部会	* 松尾 勝博	トヨタ車体(株)	代表取締役社長	部 会 長
	資材部会	* 市橋 康男 * 川名 一嘉	市岡(株) (株)矢口製作所	代表取締役 代表取締役社長	部 会 長 副部会長
	支 部	* 村松 寛明 鈴木 勇人 丸山 正範 星 浩由 * 安藤 章宏 須河 進一 * 上野 孝弘 * 北村 和則 (矢野 彰一)	北海道車体(株) 仙台鈴木自動車工業(株) (株)丸山車体製作所 (株)ヤシカ車体 (株)東海特装車 須河車体(株) フェニックス工業(株) 兼松エンジニアリング株 (株)矢野特殊自動車	代表取締役社長 代表取締役 代表取締役社長 代表取締役 取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長 常務取締役 代表取締役社長	北海道支部長 東北支部長 新潟支部長 関東支部長 中部支部長 近畿支部長 中国支部長 四国支部長 九州支部長
	事務局	* 小森 啓行	日本自動車車体工業会	—	専務理事
	計 3 0 名 (定数 2 5 名以上 4 0 名以内)				
監 事		森 茂 田村 元 * 小澤 賢記	(株)トランテックス (株)浜名ワークス ゴールドキング(株)	代表取締役社長 代表取締役社長 取締役社長	— — —
	計 3 名 (定数 1 名以上 3 名以内)				

(注)会社名及び役職は2025年5月23日現在による。
() は兼任